

資料4

教室や家庭でのいじめのサイン

1 教室でのサイン

教室内がいじめの場所となることが多い。教職員が教室にいる時間を増やしたり、休み時間に廊下を通る際に注意を払ったりするなど、サインを見逃さないようにする。

サイン

嫌なあだ名が聞こえる。
席替えなどで近くの席になることを嫌がる。
何か起こると特定の生徒の名前が出る。
筆記用具等の貸し借りが多い。

壁等にいたずら、落書きがある。
机や椅子、教材等が乱雑になっている。

2 家庭でのサイン

家庭でも多くのサインを出している。生徒の動向を振り返り、確認することでサインを発見しやすい。以下のサインが見られたら、学校との連携が図れるよう保護者に伝えておくことが大切である。

サイン

学校や友人のことを話さなくなる。
友人やクラスの不平・不満を口にするが多くなる。
朝、起きてこなかつたり、学校に行きたくないと言つたりする。
電話に出たがらなかつたり、友人からの誘いを断つたりする。
SNSをこそそ見たり、電話におびえたりする。
不審な電話やSNSのやり取りがある。
遊ぶ友達が急に変わる。
部屋に閉じこもったり、家から出なかつたりする。
すぐに寝たり、逆に夜遅くまで起きていたりする。

理由のはっきりしない衣服の汚れがある。
理由のはっきりしない打撲や擦り傷がある。
登校時刻になると体調不良を訴える。
食欲不振・不眠を訴える。

学習時間が減る。
成績が下がる。

持ち物がなくなったり、壊されたり、落書きされたりする。
自転車がよくパンクする。
家庭の品物、金銭がなくなる。
大きな額の金銭を欲しがる。

